

1992年(平成4年)2月3日(月曜日)

言 説 寄 新 伝



雪と格闘しながら作り上げる(仙南村で)

ピラミッド作り競つ

仙南で世界大会

スコップ二丁で積み上げた雪の高さを競う「スノーピラミッド世界大会」が同日、仙南村フォーラムハウ

ス前広場でにぎやかに行われた。
西仙北町のミニ独立国・秋田カエル村が考え出したイベントだが、今年は仙南村の雪まつりからの要請を受けての「出前大会」とな

った。

昭和六十一年に始まった大会で、今回が七回目。参加者は、秋田市の企業に研修留学中のタンザニアなどの外国人を含む十五人。小人数とはいえ、まさしく「国際大会」。

雪不足が心配されていたが、前日からの降雪に助けられて積雪約四十五センチあります。

スコップ二丁、競技時間百分。優勝賞金十万円を目標して懸命の「雪積み遊び」を繰り広げた結果、地元・仙南村の役員職員小園弘和さんが、三・八六センチを積み上げて優勝した。

1992年(平成4年)12月21日(月曜日)

秋田讀賣

縄をなって友好深める

◆全県◆ 100分という制限時間内に稲ワラをより合わせて縄を作り、その長さでトクロ巻きにして作る「ピラミッド」の高さを競う「第7回なわならではピラミッド世界大会」(秋田カエル村、秋田むすび文化研究会の共催)が20日、秋田市御所野の秋田テレサで行われた。参加選手はガーナ、コロンビア、中国3か国からの技術研修生計5人を含む21人。



友好を深める参加選手たち